

V みどりとまちが調和した  
安全・安心のまち

## 消防力の整備強化

(担当:総務部 総務課 課長:儀間 博嗣)

### ○消防力の整備強化

4億1,244万円

東部消防組合は、昭和51年4月に与那原町、佐敷村、南風原村の1町2村で発足しました。その後、昭和52年3月には西原村が加入し、現在では南風原町、与那原町、西原町の3町で分担金を出し合い運営しています。

主な経費

東部消防組合負担金 4億1,244万円

### 東部消防組合について教えて！

平成29年度の東部消防組合の予算額は、収入・支出ともに12億241万円です。収入は3町がそれぞれ支出した負担金と国庫補助金などで構成され、収入の92.1%、金額にして11億727万円は3町からの負担金となっています。負担金の負担割合は、南風原町37.3%、与那原町21.1%、西原町41.6%となっています。

主な経費は、人件費、はしご付きポンプ車の整備、消防車や救急車、機器類の保守点検料となっています。

東部消防組合は、3町民の生命と財産を災害(火事や交通事故)などから守り、より安全で、安心して住めるまちづくりを進めています。また、3町で一つの東部消防組合消防団を設置し、団員60名で各種災害に備えています。



▲出初め式

	<p><b>東部消防組合本部</b></p> <p>所在地 〒901-1103 南風原町字与那覇226</p> <p>電話番号(代表) 098-946-9999</p> <p>FAX 098-889-7601</p>
	<p><b>東部消防署南風原分署</b></p> <p>所在地 〒901-1117 南風原町字津嘉山939</p> <p>電話番号(FAX兼用) 098-889-5174</p>

# 安全・安心に暮らせるまちづくり

## 防災体制強化事業

(担当:総務部 総務課 課長:儀間 博嗣)

### ○防災体制強化事業

364万円

#### 1. 沖縄県防災情報システム市町村負担金 10万円

沖縄県と県内市町村・消防を結び、気象情報の伝達と、災害情報の収集・共有を行うシステムです。FAX受信のように遅れがなく注意報・警報や地震・津波情報を敏速に受信し、それらの情報を最大限に利用して防災体制を強化します。

#### 2. 沖縄県総合行政情報通信ネットワーク市町村負担金 30万円

沖縄県と県内市町村とを専用線で結び、お互いの仕事の効率化と災害に強いネットワークの構築を目指します。

#### 3. 防災に係る経費など 324万円

大規模な災害が起こった時の事を想定して、避難場所や食糧確保、医療機関との連携など、総合的な計画を整備しています。大規模地震などによる各種災害の発生を想定し、各防災関係機関相互の機密な連携、協力のもとに実践的な防災訓練を行います。訓練では、迅速で的確な応急活動を実施するとともに、町民に広く、防災思想の普及・啓発を図ることを目的としています。

また、平成24年度から災害時用備蓄品の整備を進めており、災害に備えた防災体制の強化を図っております。



▲防災訓練(消火訓練)



▲防災訓練(避難訓練)

## 不発弾処理促進事業

(担当:総務部 総務課 課長:儀間 博嗣)

### ○不発弾処理促進事業

378万円

南風原町では、戦後70年経過した現在でも多くの不発弾が発見されており、平成28年度には、4件(5発)の不発弾が発見され防護壁を使用して現地処理を行いました。鋼鉄製防護壁を使用する事により、処理時の避難半径を半減させ(例:5インチ艦砲弾の場合、230m→88m)、安全で迅速な処理を行うことができます。なお、1回の防護壁の構築・撤去等で約90万円の経費が掛かります。

主な経費

防護壁設置費等

378万円

南風原町内の不発弾発見届出数及び現地処理件数

	発見届出件数	現地処理件数
平成23年	4 1	3
平成24年	3 1	1
平成25年	5 0	2
平成26年	4 3	1 0
平成27年	4 5	5
平成28年	3 4	4

※発見届出件数には、機関銃・小銃の銃弾等も含まれています。



▲強固な不発弾処理用防護壁(ライナープレート)



▲H28年度に宇与那覇で発見された不発弾(5インチ艦砲弾)



# 快適で文化的に暮らせるまちづくり

## 黄金森公園整備事業

(担当:経済建設部 都市整備課 課長:桃原 正善)

### ○黄金森公園整備事業

1億40万円

黄金森公園は住民の憩いの場、コミュニティー形成の場、また、スポーツや文化活動の拠点となる公園で、陸上競技場・軟式野球場・テニスコート・各施設駐車場等の整備を終えたところです。今後は各施設周辺の遊歩道及び多目的広場等の整備を行います。黄金森公園整備事業は、国の補助を受け事業を行います。

本年度は、用地取得や遊歩道の整備工事を行います。

事業費 1億40万円

#### 事業費の内訳

##### 【収入】

国庫補助対象事業費	1億円
国の補助(1/2)	5,000万円
町債(町の借金)	4,650万円
一般財源	390万円

##### 【支出】

事業費の内訳(支出)	
公園整備工事費	5,601万円
用地費	4,351万円
調査設計委託費	51万円
事務費	37万円



▲遊歩道工事状況

### 黄金森公園多目的広場完成予想図



## 都市公園管理事業

(担当:経済建設部 まちづくり振興課 課長:金城 政光)

(担当:経済建設部 都市整備課 課長:桃原 正善)

### ○都市公園管理事業

859万円

黄金森公園、本部公園、宮城公園、神里ふれあい公園、花・水・緑の大回廊公園の維持管理を行う費用です。公園利用者が野球場、テニスコート等施設を利用するときに支払う使用料は、公園の維持管理に使われます。町民が快適に利用出来るように各公園内の施設維持管理に使われる予算です。

主な経費

1. 需用費(消耗品費・修繕料など) 412万円

- ・各公園のトイレトーパー、草刈の際の機械燃料代、照明の電気料や水道料金、各公園の遊具や施設の修繕費などの経費です。



▲本部公園遊具取替作業状況



▲本部公園遊具取替完了状況

2. 委託費 199万円

- ・各公園のゴミ収集、トイレなどの汚水処理、夜間の警備を専門の業者に委託します。

3. その他の経費 248万円

- ・各公園の施設の維持を行うための人夫賃・重機使用料や原材料の購入等に係る費用となっています。



▲公園園路補修作業前後の状況



# 快適で文化的に暮らせるまちづくり

## 南風原町景観計画策定事業

(担当:経済建設部まちづくり振興課 課長:金城 政光)

### ○南風原町景観計画策定事業

600万円

景観計画とは2004年に施行された景観法に基づき南風原町にあったまちづくり、景観づくりを実現するため、市町村が策定する計画です。

南風原町では、南風原町の特性を活かした景観を守り、育てるために昨年度より取り組んでおり、今年度は、住民ワークショップ及び、住民説明会等の開催を実施し、南風原町景観計画(案)を策定する事業です。

#### 【景観とは？ = 景色、ながめなど！】

景観をかたちづくる要素として、森林や緑、地域の地形、建物の高さや色、屋外広告物、農業や伝統産業など行う人々の営みの様子などがあります。



▲高津嘉山の斜面地】



▲かすりの道



▲21連アーチ橋

## 下水道事業(下水道事業特別会計)

(担当:経済建設部 区画下水道課 課長:神里 操也)

○下水道事業(下水道事業特別会計)

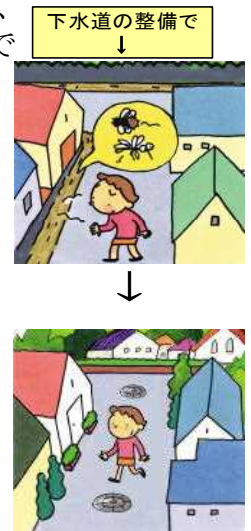
7億2,439万円

○下水道特別会計繰出金(一般会計)

1億8,342万円

下水道は、国の補助を受けて整備を行ない、川や海の公共用水域を保全し、地球の自然環境も含め、町民の皆さんの生活環境を良くするための公共財産です。南風原町で行っている下水道整備事業は、整備区域の拡充を図り下水道に接続された皆さまの家庭や、事業所等から排出されるさまざまな汚水(水洗トイレ、台所、浴室、洗濯水など)を、まとめて最終処理場(那覇浄化センター)で浄化処理し、きれいな水にしてから海に放流する(一部再利用)未普及解消下水道事業(汚水)と、雨水を速やかに排除し、浸水を防除する浸水対策下水道事業(雨水)があります。

なお、下水道事業特別会計のなかの汚水処理費は、下水道使用料で運営することになっており、使用者から下水道料金を徴収しています。

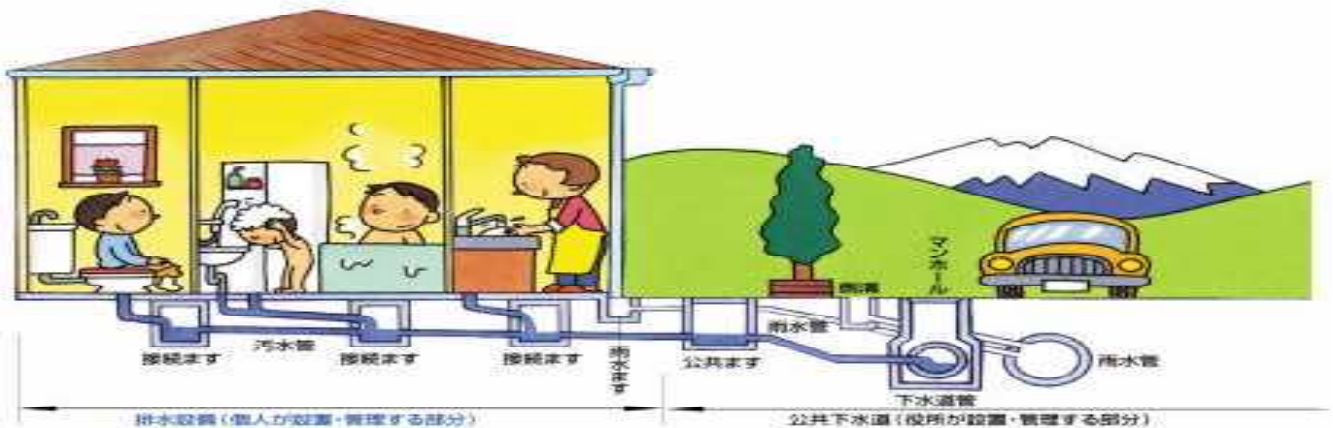


1. 下水道(国庫補助関連)事業費 3億2,991万円  
未普及解消下水道事業(汚水)、浸水対策下水道事業(雨水)の2事業で内訳は次のとおりです。

総事業費	国・県補助金	町債(町の借金)	町単費
3億2,991万円	1億9,700万円	1億2,590万円	701万円

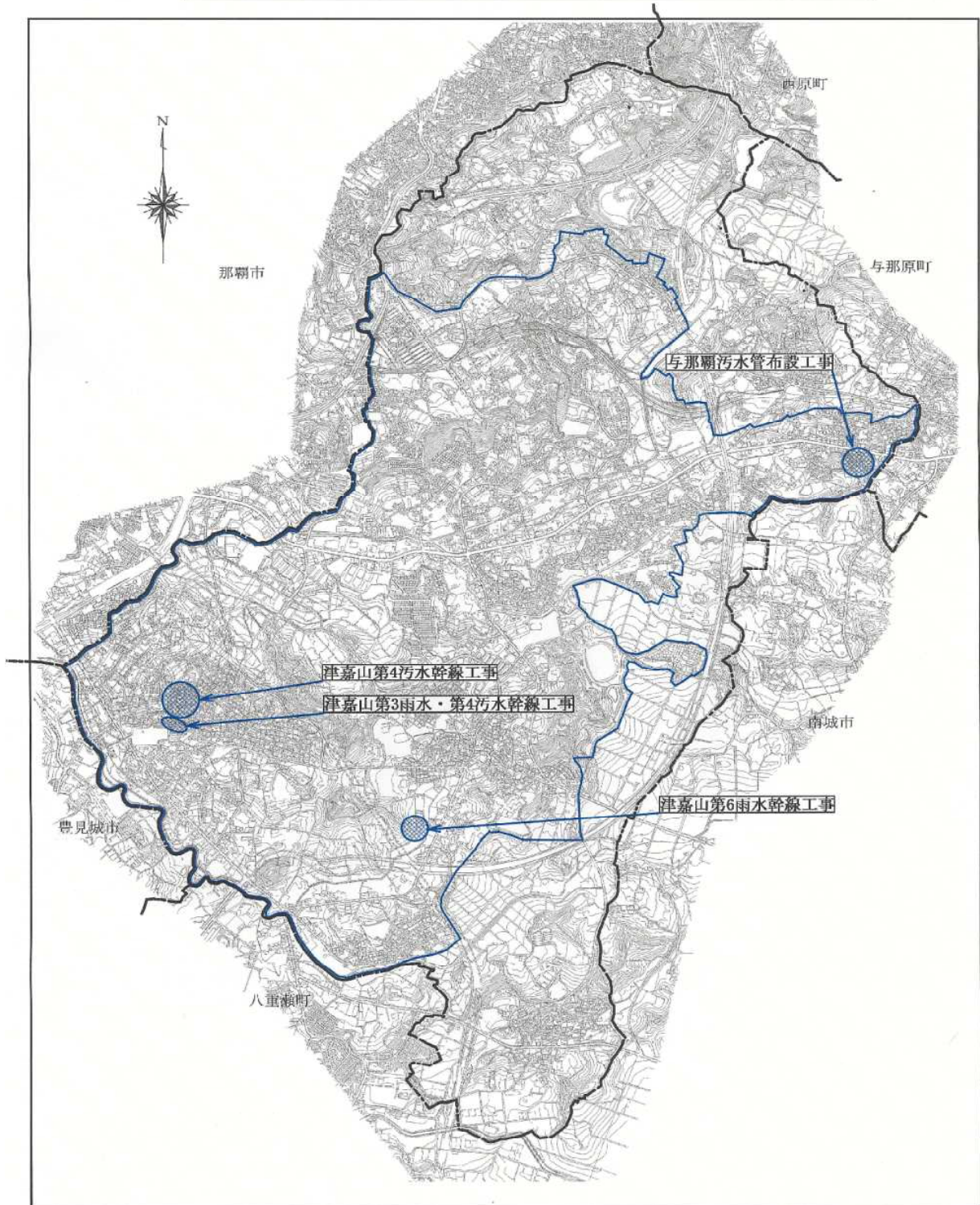
### 【平成29年度の事業内容】

- ①汚水処理整備を進める、未普及解消下水道事業として・・・7,564万円  
主に津嘉山土地地区画整理区域内の整備を行います。また、与那覇、津嘉山地内でも汚水管布設工事を行う予定です。  
工事期間:平成29年6月～平成30年3月
- ②事業の効果を促進するため、浄化槽から下水道へ接続する方への補助金・・・400万円
- ③雨水を速やかに排除し町民のみなさんの生命・財産等を浸水から守る、浸水対策下水道事業として・・・2億5,027万円  
工事期間:平成29年6月～平成30年3月





平成29年度公共下水道事業施工箇所位置図



■平成29年度下水道工事場所(与那覇・照屋・津嘉山地内)(雨水・污水)

## 2. 下水道維持管理事業 800万円

### ① 下水道維持管理補修工事 300万円

下水道施設の破損、周辺道路の陥没等に伴う補修工事に要する費用及び国道、県道の道路、河川改築に伴う、下水道施設占用物件の移設及び排水路工事等に係る費用です。

### ② 下水道台帳整備委託料 149万円

下水道法で義務づけられている下水道台帳等の整備に係る費用です。

### ③ 水質、水量及び管内調査、清掃委託料等 351万円

流域下水道との接続地点での水質、水量調査や除外施設設置者(飲食店など油を取り除くための施設を設けている)から排出される汚水の水質調査並びに下水道管の詰まり等の清掃やテレビカメラ等により、管内を確認するための調査費用等です。



## 3. 下水道普及運営事業 372万円

下水道へ接続する家庭や事業所が増えるよう普及促進を図り、下水道特別会計を効果的・効率的に運営していくために係る費用です。

### ① 水洗便所改造等貸付金 160万円

下水道が整備されると、その地域の町民のみなさんは、自宅から下水道管へ接続する義務があります。その接続の費用は個人負担となっております。下水道管へ接続する為に係る費用を町が無利子で貸付をし、水洗化の向上を図っております。

但し、貸付ける限度額は、30万円(アパート等は80万円)となっております。

### ② 修正設計委託料等 140万円

今年度、下水道工事箇所の修正設計委託料です。

### ③ 他負担金等 72万円

下水道体験学習に係る経費や、沖縄県下水道協会等への負担金を支払っています。



## 4. 流域関連事業 1億3,657万円

流域下水道は、複数の市町(那覇市、浦添市、豊見城市、南風原町)で一つの処理場(那覇 浄化センター)を持ち、県が管理し運営する下水道のことです。この処理場で汚水をきれいな水にするための維持管理費や処理場の老朽化に伴う施設の改築等費用は、構成する4つの市町で、汚水量の割合によって負担しあっています。

経費の内訳	流域下水道維持管理負担金	1億1,934万円
	流域下水道建設負担金	1,723万円

※流域下水道維持管理負担金は、本町の汚水を処理場(那覇浄化センター)できれいな水に処理するための負担金で、財源は、下水道使用料金から充当しています。

※流域下水道建設負担金は、老朽化した下水道管及び処理場の施設の改築にかかる事業費の一部を4つの市町で汚水量の割合によって負担する費用です。



# 快適で文化的に暮らせるまちづくり

## 下水道体験学習を開催しています！

区画下水道課では、児童生徒の夏休み期間中に、小学生を対象に「下水道体験学習」を開催しています。

子ども達に、下水道の役割や水の循環について学んでもらい、水の大切さや水環境の大切さについて理解してもらうために行っています。水質実験や町内のマンホールの中をのぞいたり、神里地区汚水処理場の見学、清流体験などを行っています。

親子でお気軽にご参加下さい。

(南風原中央公民館)

【下水道体験学習のようす】

(末吉公園)



水をきれいにする実験をしました。



みんなの努力によってよみがえった安謝川を見に行きました。

## 5. 公債費、他 2億4,619万円

事業の実施にともなう借入金の返済に充てる、元利償還金や南部水道企業団への使用料徴収委託料、職員給与費、予備費等の費用です。

## 6. 下水道特別会計繰出金(一般会計) 1億8,342万円

下水道事業特別会計は、公費で賄うことが認められている経費以外は基本的に、下水道の利用者の方が納める下水道使用料で運営することになっております。しかし、まだ整備の途中であり、利用人口が58%程度(H28年3月末接続人口/行政人口)のため、その方々だけで負担をすると、高額な使用料となってしまいます。それを抑えるため一般会計から下水道事業特別会計へ支出しています。

下水道事業特別会計繰出金

1億8,342万円



南風原町の下水道マンホール蓋↑



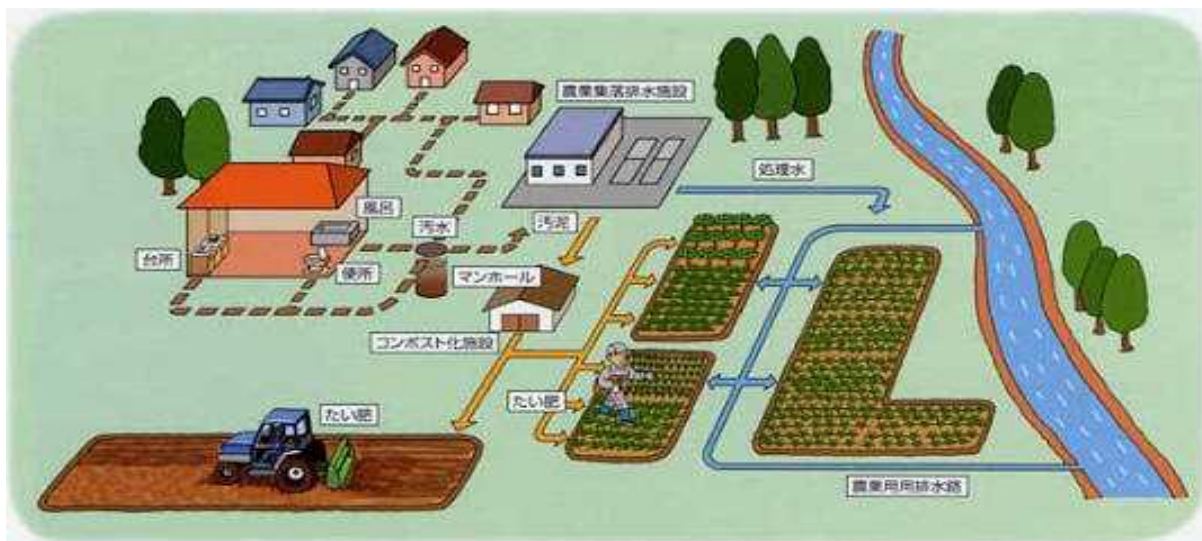
## 農業集落排水事業(農業集落排水事業特別会計)

(担当:経済建設部 区画下水道課 課長:神里操也)

- 農業集落排水事業(農業集落排水事業特別会計) 2,954万円
- 農業集落排水事業特別会計繰出金(一般会計) 1,832万円

近年、農業集落地域は、生活形態の多様化により家庭などから排出されるトイレ水、生活雑排水(台所、洗濯など)等が原因で、排水路等が悪臭を放ち、また河川の水質悪化が懸念されています。農業集落排水の整備は、排水路や川などの公共水域の水質保全が保たれ、きれいな農業用水を確保し、集落地域の環境改善を行っています。

南風原町では、神里地区と宮城地区に農業集落排水が整備されています(但し、平成25年度より宮城地区は公共下水道事業に移管されました)。農業集落排水事業特別会計も下水道事業特別会計と同じように、使用している方が納める使用料で運営することとなり、使用者から下水道料金を徴収しています。



### 1. 神里地区農業集落排水事業 2,363万円

神里地区は、農業集落排水(下水道)を平成14年度から供用開始しています。各家庭から排出される汚水等は、下水道管を通り汚水処理施設に運ばれ処理されています。高度処理された水は農業用水に再利用し、また水分を取り除いた汚泥は、東部清掃施設組合が運営する汚泥再生処理センターへ搬出し、ごみ焼却施設の助燃剤として再利用しております。

#### ①神里地区農業集落排水普及運営事業 86万円

神里地区の下水道使用料の徴収を南部水道企業団に委託するための費用や、各世帯が下水道本管等へ接続する際にかかる工事費の一部を無利子で貸し付けするための費用を計上しています。

#### ②神里地区汚水処理施設維持管理事業 1,371万円

汚水処理施設の機械を安全に運転していくための管理費や汚水処理施設内の修繕費、汚水処理施設から排出される汚泥を搬送する委託費用などです。



神里地区農業集落排水処理施設▲



# 快適で文化的に暮らせるまちづくり

③神里地区集落排水維持管理事業 150万円  
神里地区内の下水道管の調査や清掃委託費用  
及び管路布設等工事費用などです。

④神里地区汚水処理施設機能強化対策事業 756万円  
農業集落排水(下水道)は供用開始から約14年が経過  
しており、汚水処理施設や中継マンホールポンプ場にお  
ける機械の老朽化が見られることから、機械の機能診断委  
託費用や最適整備構想を策定するための委託費用を計上しています。



2. 公債費など 591万円  
農業集落排水事業を行うために借りた借金の返済金(元金・利子)です。

内訳 ・元金償還金 約439万円 ・利子償還金 約122万円 ・その他 30万円



3. 農業集落排水事業特別会計繰出金 1,832万円

農業集落排水の運営に要する経費は、公共下水道と同じく利用者の皆様からの使用料で賄うことになっております。しかし、現在の使用料だけでは運営ができないため、一般会計から農業集落排水事業特別会計に繰出しています。

## 道路維持事業

(担当:経済建設部 まちづくり振興課 課長:金城 政光)

### ○道路維持事業

1,768万円

町民及び地域住民が毎日使う道路は新しい道路もあれば古い道路もあります。古くなった道路は傷みが激しく穴があいたり、ヒビが入ったりしてしまいます。傷んだ道路は危険で、交通事故などの原因にもなりますので、破損した箇所の維持補修を行うと共に、歩道や道路敷などの除草を行い、交通の安全を図ります。

(主な事業内容)

- ① 道路面の清掃及び舗装の補修
- ② 道路側溝、排水の清掃及び補修
- ③ 街路樹の伐採、せん定
- ④ 台風や水害後の道路及び排水等の清掃
- ⑤ 需要費
- ⑥ その他

(事業費内訳)

人夫賃	455万円
草木等の処理	100万円
重機等使用料	300万円
原材料費	340万円
維持工事費	500万円
消耗品費等	73万円



▲破損した排水溝の補修作業状況



▲老朽化で腐食したグレーチングの補修作業状況

すぐやる班の業務として町内各所にわたり、町民のみなさまの要望等にお答えするため日々迅速に対応しております。平成28年度中の処理件数は下記のとおりとなります。本年度も同様にすぐやる班において町民が快適に過ごせるよう対応していきたいと思っております。

すぐやる班対応件数 212件

主な対応内容

- |             |     |
|-------------|-----|
| ① 草木等の伐採    | 12件 |
| ② 町道等側溝の修繕  | 25件 |
| ③ 町道等側溝の清掃  | 20件 |
| ④ 町道等道路修繕   | 58件 |
| ⑤ 排水溝土砂撤去作業 | 7件  |
| ⑥ 公園遊具修繕    | 3件  |
| ⑦ 公園施設修繕    | 12件 |
| ⑧ その他       | 75件 |



# 利便性のよい魅力あるまちづくり

## 町道5号線道路改良事業

(担当:経済建設部 都市整備課 課長:桃原 正善)

### ○町道5号線道路改良事業

4,078万円

町道5号線は、町道49号線を起点とし、主要地方道南風原知念線を終点とする道路です。本路線沿いには、本町が整備を進めている都市公園（総合公園）である黄金森公園があり、その区域内に旧陸軍の病院壕の跡を平和学習の一環としての情操教育の場とすべく、公園事業で整備を行い平成19年度より一般公開し、修学旅行や県内の小中高生の学習の場となっています。しかし、本路線は、公園整備の駐車場計画位置に接しながら、現況幅員が5mと狭く歩道もないため、一般車両等のすれ違いが困難な状況や歩行者の安全確保が課題となっており、早急に道路整備を必要とする路線となっています。

本年度は用地測量・物件調査・用地買収・物件補償を実施します。

#### 【全体事業概要】

総事業費:3億6,000万円

事業年度:平成28年度～平成32年度

改良工事:距離=779m

工事区間:町道49号線と県道86号線を  
結ぶ区間

#### 【平成29年度の事業費内訳】

事業費 4,078万円

《収入》

国の補助(80%) 3,200万円

町債(町の借金) 780万円

一般財源 98万円

《支出》

委託費 902万円

用地費 2,801万円

補償費 301万円

事務費等 74万円



## 町道10号線道路改良事業

(担当: 経済建設部 都市整備課 課長: 桃原 正善)

### ○町道10号線道路改良事業

1億8,911万円

この道路は、県道南風原与那原線を起点とし、那覇市境界までを終点とする1級町道です。近郊には健康増進施設の「環境の杜ふれあい」や那覇・南風原クリーンセンター、県立開邦高校があり、また当町道と那覇市道鳥堀12号線が整備連結したことにより、南部地域から那覇市への通勤通学路として利用されている重要な路線となっています。しかしながら、道路の起点から中間地点までが地すべり危険区域に位置し、地形的に急勾配になっているため集落箇所において、地すべりが生じ路面中央部付近まで沈下が起きて危険な状態にあります。又、歩道もなく道幅が狭い箇所もあることから、接触事故等も多発し、地域住民の交通安全確保が厳しい状況となっています。

本路線を整備することにより歩行者の安全と通勤通学、各施設等への交通の利便性が確保され、地域の生活環境も改善が図られます。

本年度は本用地買収・物件補償を実施します。

#### 【全体事業概要】

総事業費: 17億7,300万円

事業年度: 平成24年度～平成28年度

改良工事: 距離=841m

工事区間: 県道南風原与那原線と那覇市道鳥堀12号線とを結ぶ区間

#### 【平成29年度の事業費内訳】

事業費 1億8,911万円

#### 《収入》

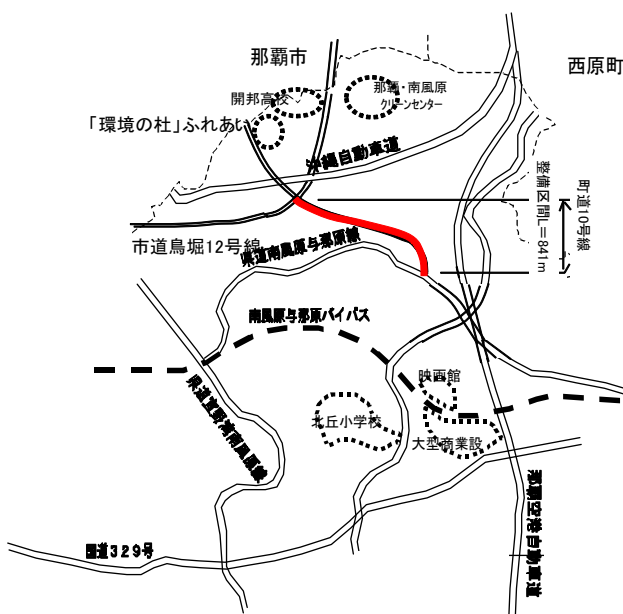
国の補助(80%) 15,100万円

町債(町の借金) 3,470万円

一般財源 341万円

#### 《支出》

・用地費	841万円	・補償費	1億8,036万円
・事務費	24万円	・原材料費	10万円



# 利便性のよい魅力あるまちづくり

## 町道73号線道路改良事業

(担当:経済建設部 都市整備課 課長:桃原 正善)

### ○町道73号線道路改良事業

4,002万円

この道路は、県道128号線を起点とし国道507号津嘉山バイパスとも連結し、津嘉山集落の町道18号線を終点とする道路です。起点から中間部までは整備済みですが、中間部から終点部における現況は、幅員も狭く車輛の通過時においても危険な状態の道路であります。しかし、近郊に整備される地域農業の活性化を図る農産物直売所JAファーマーズ建設に伴い、本道路の利用者の増加が予想されます。本路線を整備することにより主要幹線道路への通過交通の安全を確保し、既存集落内への交通の利便性を図り地域の環境改善も図られることから、地域振興に寄与します。

本年度は用地買収・物件補償を実施します。

#### 【全体事業概要】

総事業費:1億5,000万円

事業年度:平成27年度～平成31年度

改良工事:距離=290m

工事区間:町道18号線を終点とする路線

#### 【平成29年度の事業費内訳】

事業費 4,002万円

《収入》

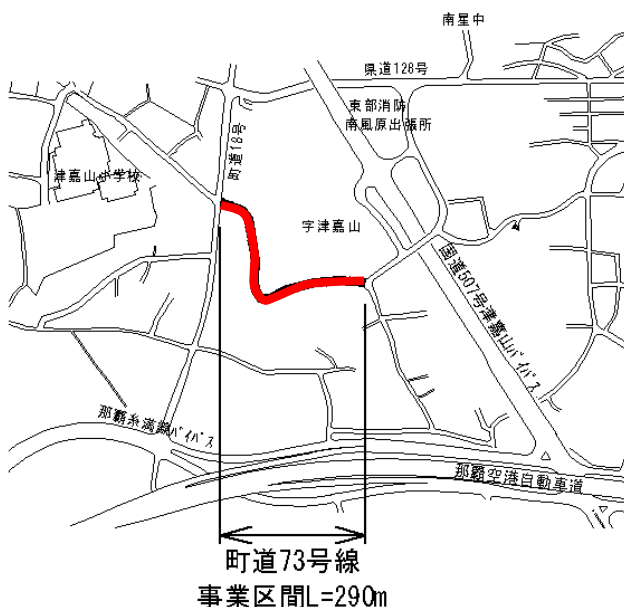
国の補助(80%) 3,200万円

町債(町の借金) 720万円

一般財源 82万円

《支出》

・用地費 3,531万円 ・補償費 471万円





## 宮平学校線街路事業

(担当:経済建設部 都市整備課 課長:桃原 正善)

### ○宮平学校線街路事業

1,001万円

宮平学校線は、県道241号線(南風原町役場前)から南風原小・中学校沿い、宮平地内を通り国道329号当間原交差点を含む道路です。

この道路は、小学校、中学校、公園、保育所等の公共施設が点在し住宅が密集しているなか、曲がりくねった形状(カーブ)が連続する狭く複雑な道路で、通勤・通学に支障をきたし危険な状態でした。交通渋滞の解消と安全で快適な歩行者空間を確保するために、整備を行っています。

箇所名 : 南風原町字兼城 ~ 南風原町字宮平

全体計画 : 延長L=942m 幅員W=18m(工事前の状況W=4~7m)

全体事業費 : 45億7,500万円(国費36億6,000万円)

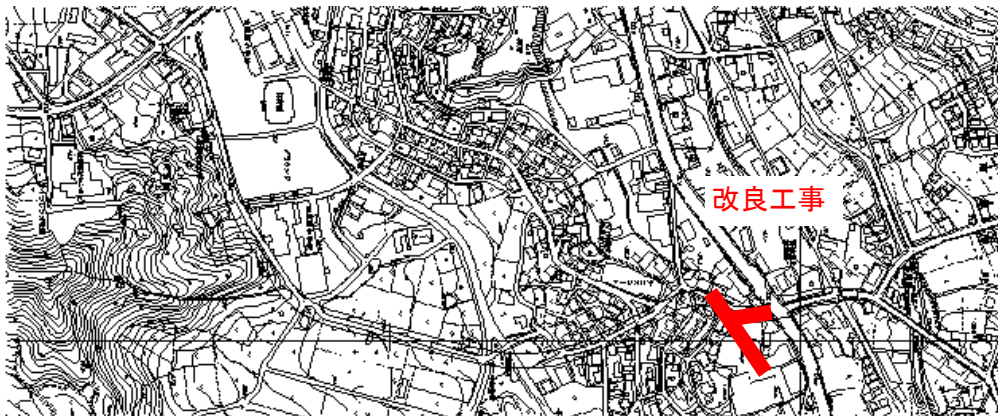
※28年度までの事業費計45億6,500万円(国費36億5,200万円・・・全体の99%)

事業期間 : 平成11年度~平成29年度

### 【平成29年度事業費 1,001万円の内訳】

《収入》 国庫補助金:800万円、町債(町の借金):180万円、一般財源:21万円

《支出》 工事費:1,001万円



※本年度は、国道329号線交差点及び町道側の歩道の車止め設置工事と舗装工事を行います。

# 利便性のよい魅力あるまちづくり

## 津嘉山中央線街路事業

(担当: 経済建設部 都市整備課 課長: 桃原 正善)

### ○津嘉山中央線街路事業

8,555万円

当路線は、国道507号付近の既成市街地と津嘉山北区画整理区域、県営南風原第二団地、国道329号を結ぶ主要な補助幹線道路です。周辺には、津嘉山小学校、南風原高校、高津嘉山公園などの公共施設があり、通勤通学及び公共施設等のアクセス道路として利用される重要な路線です。しかしながら、本路線には歩道が無く、通勤通学の歩行者や車両の通行が大変危険な状態である事や、整備中の区画整理区域内道路の完成により多数の車両の流入が予想される状況です。そのため、本路線を整備することにより区画整理区域と一体となった道路を整備し、新たな地域拠点の創出をするとともに地域間の交流・活力ある地域づくりの形成を図るものであります。

本年度は、物件調査業務及び用地買収・物件補償を行います。

箇所名 : 南風原町字津嘉山

全体計画 : 延長L=250m 幅員W=12m(工事前の状況W=4m)

全体事業費 : 10億5,400万円(国費8億4,320万円)

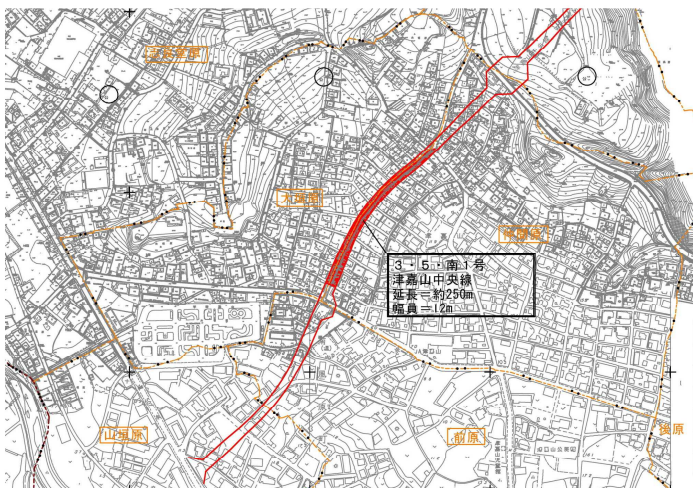
事業期間 : 平成25年度～平成30年度

### 【平成29年度事業費 8,555万円の内訳】

《収入》 国庫補助金:6,829万円、(町の借金):1,580万円、一般財源:146万円

《支出》 委託費:301万円 用地費:691万円 補償費:7,547万円

事務費: 16万円



## 津嘉山北土地区画整理事業(土地区画整理事業特別会計)

(担当:経済建設部 区画下水道課 課長:神里操也)

○津嘉山北土地区画整理事業(土地区画整理事業特別会計)

9億8,281万円

○土地区画整理事業繰出金(一般会計)

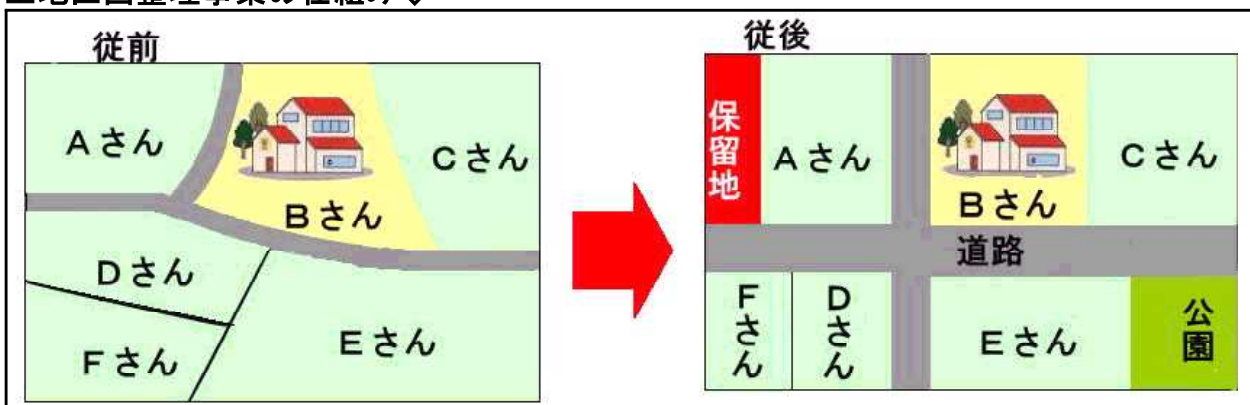
2億7,541万円

津嘉山北土地区画整理事業は、平成2年頃から地域住民や土地所有者の皆様と共に、まちづくり(案)などについて議論と検討を重ねながら作成され、事業計画が平成5年に国から認可をうけ、同年から事業が始まりました。この事業は国の補助を受けて行っています。

### 【土地区画整理事業の概要】

◆土地区画整理事業とは、都市基盤が未整備な市街地や市街化の予想される地区を健全な市街地にするために、道路・公園・河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業です。

### ◇土地区画整理事業の仕組み◇



◆地区内の土地所有者等が、土地を少しずつ提供(減歩)し、道路・公園などの公共用地や保留地に充てます。各個人の土地は、地形や形状が改善されて再配置(換地)されます。この結果、図の様に道路・公園等の公共施設が整備されます。また、個人の土地は区画が整理されるとともに、無接道の土地も接道することとなり、土地活用が図りやすくなります。

※保留地とは、売却することで事業費を得るための土地のことです。

※地権者の宅地の面積は土地区画整理事業後に減少しますが、道路や公園などの公共施設の整備や、宅地の整地によって利用価値が上がります。

### ◇事業の特徴及び効果◇

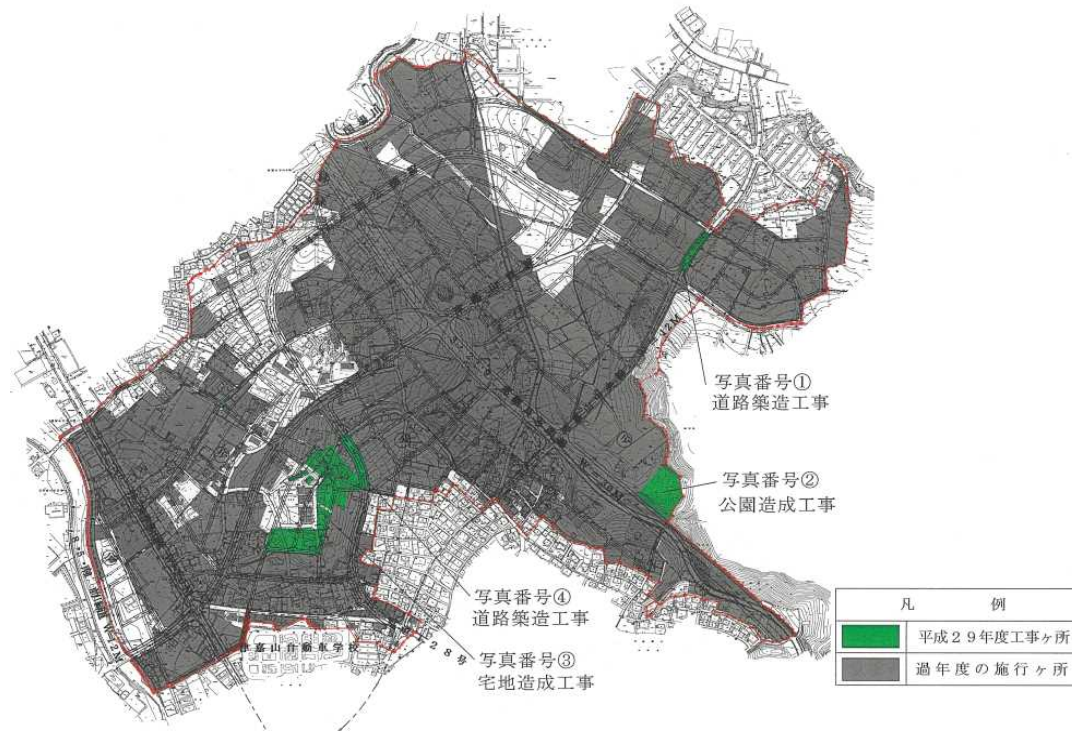
- ・事業区域内の道路、水路、公園等土地の区画が整えられ生活環境が改善されます。
- ・上・下水道など生活に必要な施設が総合的に整備され、衛生環境の向上が図られます。
- ・土地の所有者などが公平に土地等を負担し、また利益も公平に受けられます。
- ・区画整理前の権利を保全しながら事業を行うため、長年培われてきた地域のコミュニティが活かされます。
- ・子どもの遊び場や住民の憩いの場である公園が確保されます。





## 平成29年度工事予定箇所

津嘉山北土地区画整理事業 平成29年度工事予定箇所図



写真番号：①



写真番号：②



写真番号：③

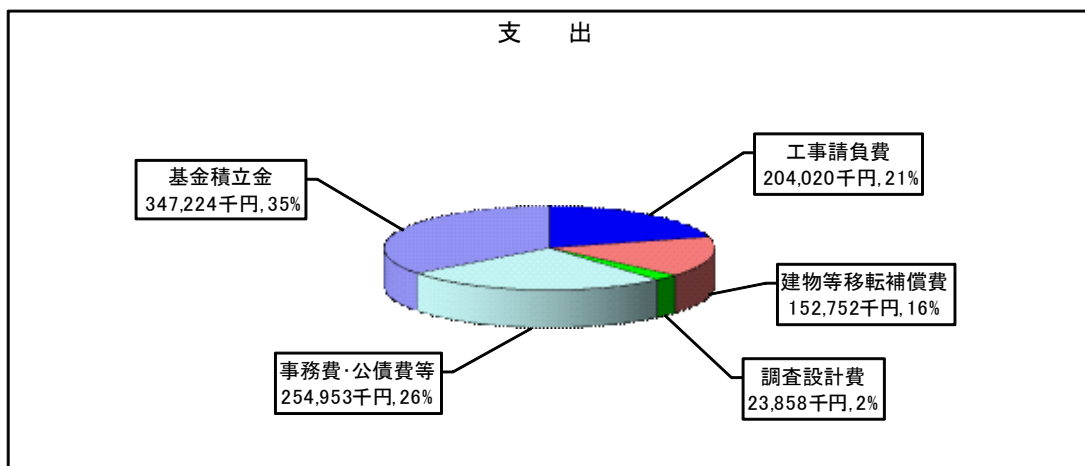
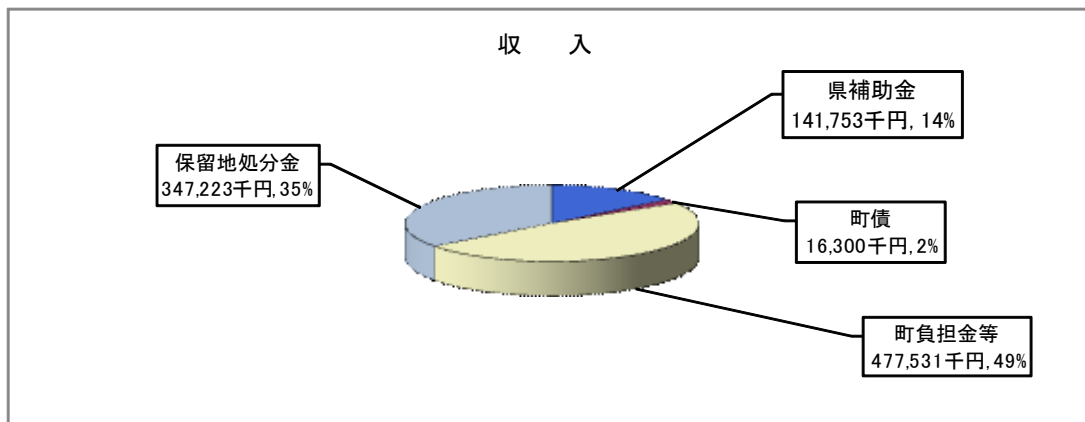


写真番号：④

# 利便性のよい魅力あるまちづくり

## 津嘉山北土地区画整理事業費内訳

平成29年度事業費 9億8,281万円



### ○土地区画整理事業繰出金

2億7,541万円

津嘉山地区土地区画整理事業をスムーズに行うため、一般会計から土地区画整理事業特別会計に繰出しています。

主な経費

土地区画整理事業繰出金 2億7,541万円